

たいがほの

有間山

標高
有間山(タタラノ頭) 1213m
橋小屋の頭(有間山) 1163m

山行実施日
2016年
11月6日
メンバー
O野(L)

国土地理院の地形図には有間山稜の中間あたり、1213m峰に有間山(タタラノ頭)とある。ところが着いてみると、樹に「タタラノ頭」の看板が打ち付けてあるだけ、有間山の標識はない。

1213m峰から山稜を北に向かつて、国土地理院の地形図では名無しの1163m峰に着くと、立派な標識に有間山(橋小屋の頭)との表記がある。

昭文社の登山地図にはこのあたりの山の総称として有間山の記載がある。

名栗湖畔を過ぎ、落合の観光釣場の駐車場に駐車。7・40林道を歩き出す。単独行は久し振り、落ち着いた気分になれない。

8・15、栃の木入沢出合いから、沢の右岸に沿った踏み跡を辿る。人より、鹿の足跡が多い。途

る木が踏み跡の上に覆いかぶさり、そつと分けて進んだ。それでも、袖を通して、腕に刺さることもある。

何回か沢を対岸に渡り、土の急斜面を木を掴んで登り、堰堤を越え、一本目の砂利の林道に出た。

それを横切り、沢に沿って更に登る。水が尽きると間もなく二本目の林道だ。現在地を確認して、今度は、林道の側壁を無理に登って、1213m峰から東に延びる尾根

に取り付く。以前来たときは、笹藪を漕いだと思ったが記憶違いのようだ。雑木の尾根を快適に歩き、10・40、1213m峰に着いた。ここまで、登山者とは出会わ

なかった。三角点があり、樹にタタラノ頭と書いたブリキ板が打ち付けてある。所謂「自撮り」で写真を撮る。

尾根を北に、小さなピークを越

して行く。晴天だけど、風が強い。11・10、着いた1163m峰には立派な有間山(橋小屋の頭)の標識があった。ここでも「自撮り」で写真を撮る。

向きを東に変え、広い鞍部に降りる。四阿がある。そこから緩やかに登る。腕がチクチクすると思ったら、シャツに棘のある草の実がいつぱいついていた。登山道脇の小さなピークに、朽ちかけた「本物の蔵山」の標識を見つけた。

予定通り、12・00蔵山に着き、待ってくれていた会の8人の仲間を迎えられた。集合写真を撮り、少し戻って、風が避けられる所で昼食。鮭のスープを囲み、和やかな時間を過ごす。

下山は、名郷から私の車を置いた落合まで送ってもらえるということで、予定を変えて、全員一緒に下った。結構急な下りで、いつもの通り、H田さんがはしゃいでいた。

学校勤務、中学生の学習教室、会の任務、畑仕事等時間に追われる生活の中で、のんびりとした一日だった。(O野記)

山頂にて

コースタイム
落合 7:40—栃の木入沢 8:15—s
下の林道 9:35—上の林道 10:10
—1213m峰 10:45—1163m峰 11:10
—12:00 蔵山(後藤さんパーティ
と合流、昼食) 13:05—15:50 名郷

